



栗原小だより

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>



令和3年度 1月号

令和4年1月11日

新しい年を迎えて

校長 大井 敏彰

明けましておめでとうございます。各ご家庭では、穏やかで清々しい新年を迎えられたことと思います。昨年は、コロナ禍で社会情勢が日々変化中、本校の様々な教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年も皆様にご支援をいただきながら、子供たち一人一人の力をしっかりと伸ばしていけるよう、教職員一丸となって努めてまいります。令和4年もどうぞよろしくお願いいたします。



【R4.1.1 荒川沿いの土手から望む初日の出】

さて、年末の埼玉新聞に「小中学生の体力低下」といった見出しの記事がありました。これは、スポーツ庁が実施した2021年度全国体力テストの結果について書かれたものです。記事によると、体力低下の主な要因は、コロナ下で運動する機会が制限され、児童生徒の運動時間が減少したことだそうです。結果から見られた傾向は以下のとおりです。

- ・持久走の落ち込みが顕著
- ・上体起こしや反復横跳びの回数減
- ・50m走の記録低下
- ・長座体前屈の向上
- ・肥満割合の増加に拍車

この記事の最後には、「スポーツ庁はスマホなどの普及で外遊びが減っているとみて、運動機会を増やすよう呼びかけている」と書かれていました。ICT教育が一気に加速した一方で、体力低下という新たな課題もみられるようになりました。

本校では、以前より児童の体力課題の解決に向けて、以下のように様々な取組を行っています。

【クリッピング体操（新栗っ子体操）】

令和2年度に先生方の発案により、従来の栗っ子体操を改良する形で開発されました。その内容は、具体的な運動をイメージしながら、柔軟性、敏捷性、巧緻性を高めることを目的とした運動になっています。全学年で体育の準備運動として行っています。

【PU（パワーアップ）】

本校の体力課題である「走力・投力・柔軟性」の解決を図るため、毎週木曜日の業間休みに全校で実施しています。ブロック毎3つに分かれ、校庭では3色こおり鬼（走力）と的当て（投力）、体育館ではストレッチ（柔軟性）を行い、全校で元気に体を動かしています。

【縄跳び検定】

冬場の取組として実施しており、業間休みになるとたくさんの子供たちが校庭で縄跳びをしています。昇降口にはブロック別に「前跳び」「二重跳び」のベスト5を示す掲示があり、よい記録が出ると更新されていきます。

この他にも、本校では「栗っ子の誇り」に『外遊び』を位置付け、外遊びを奨励したり、2月に発表する学校研究では、研究主題「主体的に学ぶ児童の育成」のもと、体育の授業力向上をとおして『考え、決定し、行動できる児童の育成』に取り組んだりしています。

運動する習慣は、健康維持や体力向上だけでなく、脳の活性化、思考力や判断力の育成、スマホ依存の防止など、様々な効果を発揮します。寒い時期ですが、ご家庭でも、お子さんと一緒に体を動かす機会を積極的に設け、進んで運動する習慣を育てていただきますよう、ご協力をお願いします。